

〈語彙リスト〉

1. 日常会話のフレーズ

よろしくお願いいたします: "Please take care of me" / Polite greeting

ありがとうございました: "Thank you very much" / Polite expression

2. 会計に関する語彙

割り勘(わりかん): Splitting the bill evenly

合計金額(ごうけいきんがく): Total amount of money

別々(べつべつ): Separately

伝票(でんぴょう): Bill, check

精算(せいさん): Settlement (of accounts)

ご馳走になる(ごちそうになる): To be treated (to food/drinks)

3. 社会的関係や文化に関する語彙

年下(としした): Younger (person)

後輩(こうはい): Junior

礼儀(れいぎ): Courtesy, manners

配慮(はいりょ): Consideration

習慣(しゅうかん): Custom, habit

カルチャーショック: Culture shock

4. 感情や意見を表現する語彙

公平(こうへい): Fairness

不公平(ふこうへい): Unfairness

違和感(いわかん): Discomfort, feeling out of place

納得する(なっとくする): To understand, be convinced

5. 丁寧で独特な日本語表現

ここは私が: "Let me pay this time" / Polite expression used when offering to pay for others

いえいえ、それは...: "No, no, that's..." / Used to politely refuse at first

では今日のご馳走になります: "Well then, I will accept your treat today"

6. その他の重要な語彙

参加人数(さんかにんずう): Number of participants

配る(くばる): To distribute

独特(どくとく): Unique, distinctive

強い(つよい): Strong (e.g., strong drinker)

弱い(よわい): Weak (e.g., weak drinker)

〈文型リスト〉

・定義を説明する文型

～とは...のことです: Used to define a term.

例: 割り勘とは、合計額を人数で割って支払うことです。

～というのは...です: Another structure for definitions.

例: 割り勘というのは、みんなで合計金額を分けることです。

・理由や原因を表す文型

～からです: Explains the reason or cause.

例: 飲んだ量が違うのに、会計が同じ金額というのは、不公平だと思うからです。

～ために: Indicates a reason or cause.

例: 日本では美味しいものをシェアして楽しむ文化があるため、割り勘が一般的です。

・意見を述べる文型

～と思います: Expresses an opinion.

例: 割り勘は公平だと思います。

～ではないでしょうか: Expresses a softer or uncertain opinion.

例: この感覚が日本人独特ではないでしょうか。

・対比を表現する文型

～が...: Contrasts two ideas.

例: 私は公平だと思いますが、外国人には不公平だと感じるそうです。

強調や意外性を表す文型

～なんです: Adds emphasis or explains a situation.

例: 割り勘は日本では当たり前なんです。

～でも: Even (unexpected condition).

例: 居酒屋でも割り勘が使われます。

・日本語らしい会話表現

いえいえ、それは...: Polite refusal in conversation.

ここは私が...: Offering to pay, often left incomplete.

では今日のご馳走になります: Accepting someone's treat politely.

〈学習のポイント〉

・会計文化の理解

日本独特の「割り勘」文化を理解することで、語彙と実生活の両方に役立つ学習が可能です。

- ・丁寧な断り表現と礼儀

「いえいえ、それは…」や「では今日はお馳走になります」のような表現は、日常会話で使える重要なフレーズです。

- ・文化の違いを学ぶ

「カルチャーショック」や「独特」という語彙を通じて、日本文化と他文化の違いを学びます。

- ・意見交換の練習

「～と思います」や「～ではないでしょうか」を使って、自分の意見を表現する練習をしましょう。

〈練習例〉

- ・語彙練習

質問: 「割り勘」とは何ですか？

回答例: 割り勘とは、合計金額を人数で割って支払う方法のことです。

- ・文型練習

質問: 日本の「割り勘」についてどう思いますか？

回答例: 私は公平だと思いますが、お酒を飲めない人には不公平ではないでしょうか。

〈スクリプト〉

M: こんにちは、みなさん！！お元気ですか。

「Cotoラジオ」、本日も始めました！！

パーソナリティの私(わたくし)金城と、木下さんでお届けしてまいります。

木下さん、よろしくお願いいたします。

A: はい、どうぞよろしくお願いいたします。

M: 本日で●回目の「日本、なぜ、どうして？シリーズ」ですが、本日のテーマは...

・コーナー1: 本日のテーマ&スモールトーク

M: 「割り勘ってどうなの？」です。

まず初めに質問です。木下さんは「割り勘」をしたことがありますか。

A: ええ、もちろん。何回もあります。それが「なぜ？どうして？」なんですか。

M: 私もちろん何回もしたことがありますが、私たち日本人が当たり前だと思っているこの「割り勘」、日本に住む外国人にとってはとても不思議な会計方法なんだそうです。

A: えー、そうなんですか。どの国にもある一般的な会計方法かと思っていました。
日本独特のものなんですかね。

M: そうみたいです。 念の為、割り勘とは何かを説明したいと思います。割り勘とは居酒屋などでの食事の際にそれぞれが注文したものを払うのではなく、合計額(全部を一緒にした金額)を人数で割って支払うという払い方のことになります。

今日はその「割り勘」についてお届けしたいと思います。

まず、割り勘をするのはどんな時になりますでしょうか。

一人一人がそれぞれ注文したものを食べる場合には使いませんよね。

その場合の会計は、「別々」と呼ばれます。

お店の人には、伝票と呼ばれるBillをもって、別々でもいいですか？とききます。

A: そうですよ。割り勘が発生するのは、居酒屋など、みんなでなんとなく頼んでみんなで食べるみたいな時になりますね。

M: そうですね。一つの物をみんなで食べる時にそうなりますよね。

そうすると誰が何を注文したか、よくわからない、どこかみんなで食べてるのはいよいよ難しいわけ

です。その時にするのが「割り勘」—、人数分で合計金額を割る会計方法となります。

A: えー、これがそんなに独特なんですか？？みんなで決めてオーダーしてみんなで食べたんですから、参加人数で割ることは自然だと思いますが・・・。

M: そうですね。

ではお酒はどうでしょう。みんな全く同じ量を飲みますかね？？

A: いいえ。だってお酒は「強い人」、「弱い人」、「飲めない人」がいますから、同じ量という訳にはいかないと思います。

M: 飲んだ量が違うのに、会計は同じ金額という事ですね。

A: ええ。

・コーナー4:「割り勘」って公平？不公平？

M: これが日本に住む外国人の方たちには何とも理解しがたいこともあるようです。

「他人の飲み代を何故私が負担しなくてはいけないのか？」・・・と。

また自分はあまり食べていないのになぜ同じだけ払うのかと

「これじゃあ一番食べて飲んだ人が得をして、一番食べたり飲まなかった人が損をするではないか」
と思うそうなんです。これは「不公平」ではないか、と言うのです。

A: なるほど！その意見、言われてみればそうですね。そうってしまうのも分かる気がします。お酒は「飲みたい／飲みたくない」ではなく、「飲める／飲めない」ですからね。自分の意志ではなく体質的に無理なことが理由なのに、そのことを一切考慮に入れず数字上等分にするのはおかしい、という事ですね。

M: そうなんです。

自分の意に反した支払いを求めるスタイルに違和感を覚えるそうなんです。

A: なるほど・・・。私は同じ時間、同じテーブルで同じように楽しんだのだから、その楽しい時間を分かち合う、つまり合計金額に対して等分に負担することが「公平」なんだと思っていました。逆に誰かが多く払って誰かが少ししか払わない、という方が「おごってもらった」とか「貸し借りを作ってしまった」ような感じがして、次から一緒に飲みに行きにくくなってしまう、というような感覚があって…。でも、この感覚が日本人独特、という事なんですね。

M: はい。きっとそういう事なんだと思います。それ以外にも外国では「キャッシュオンデリバリー」とい

う、各自がカウンターで自分の飲みたいもの・食べたいものをオーダーして払う方式のところが多いですから、「自分の分は自分で払う」という感覚が強く、こういった「会計方式の違い」も影響しているかもしれませんね。

A: あー、日本でも最近、その外国スタイルのお店がありますよね。私も先日行きました。確かに自分の分は自分で払って、食べ物は各自が注文したものをシェアする、という感じでした。飲み終わって帰る時、会計やら精算やらで大変な思いをせず、すぐにバイバイができて別れ際がとてもスマートに感じました。

M: 確かに、それはいいですね。

日本では一緒に食事をする、前提としての「美味しいものをシェアして楽しむ」という文化も前提にあるように感じました。これ、私が頼んだから自分だけで食べる、というのは居酒屋などでは絶対にNGですよ。

A: 確かに。皆で配慮しながら一緒に食べられそうなものを注文しますね。
でもこれも完全にフェアかと言われるれば難しいこともありますね。

M: 「お酒の席」という、大人にはごく身近なシーンでもお互いの習慣の違いによる「カルチャーショック」があるという例かなと思います。

A: はい。とても勉強になりました。

・コーナー5: 日本のクールなお会計用語「ここは私が」(●分)

M: ちなみに木下さんは自分の後輩や年下の人と飲みに行くことがありますか。

A: ええ、時々あります。

M: その時、会計はどうしますか。

A: 私の方が年上ですから、格好つけて「ここは私が」なんて言ったりします。
いつもではないですけどね(笑)。

M: いいですね。「ここは私が」っていうのカッコイイですね！

これは割り勘ではなく、自分が払いたい、という時の表現で、「ここは私が全部払います。」という意味で使います。

この言い方、これをお聞きのみなさんは聞いたことがありますか。これは最後まで文を言わないのがポイントです。例えば「今日は私が、、」という言い方ですね。

A:確かに、「払います」、は言いませんね。

M:ではもう一つ。もし一緒に飲みに行った誰かから「ここは私が」と言われたら、木下さんは何と答えますか。

A:「いえいえ、それは・・・」と、「私も払う」という意思を伝えます。

M:ここでもまた最後まで言わずに思いを伝える日本語独特のレスポンスですね。
では木下さん、最初から素直に「ありがとうございます。」と言うことはありますか。

A:ないですね。必ず一度は自分も払う意思を見せますね。それが礼儀だと思いますからね。

M:そうですね。最終的に払ってもらおうとしても、一度は断る、これもまた日本語独特のレスポンスですね。で、そのあとで、「では今日をご馳走になります。」などと言ってご馳走になる＝払ってもらいます。では二人でちょっとやってみましょう。

M:木下先生、今日はどうもありがとうございます。ここは、私が...

A:あー、いやいやいや。それはちょっと...私も...

M:いえいえいえ、今日は私が払うと決めていたので、おごらせてください。

A:あー、すみません。ありがとうございます。

M:こんな感じですね。ちなみに、僕あまりおごったことがないので、今の会話はやりにくかったです。

■エンディングトーク：出演の感謝 & 締め言葉(1分)

M:それでは本日は以上です。皆さん、いかがでしたでしょうか。
木下さんは、どうでしたか。

A:はい。いままで普通に使っていた言葉や表現が、実は日本語独特のものだったと分かってとても勉強になりました。

M:このラジオでは皆さんが「なぜ？ どうして？」と思う事に答えていきたいと思います。ぜひみなさんが思った「疑問」をこのラジオに送ってください。

できるだけお答えしたいと思います。たくさんのご質問、お待ちしております。
それではまたお会いしましょう。ありがとうございました！！

A: ありがとうございました！！